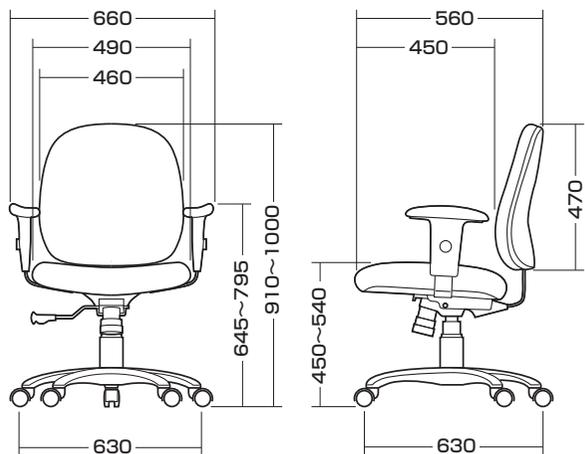


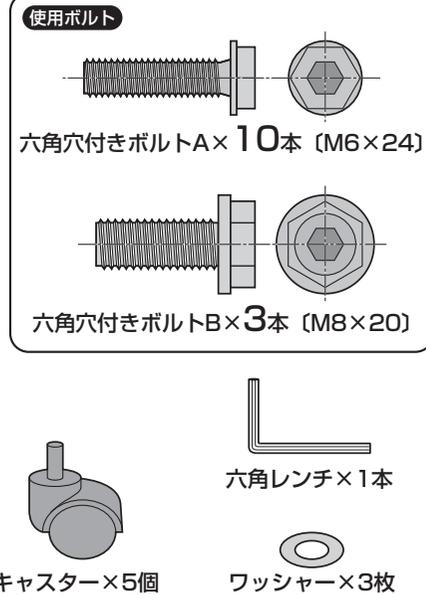
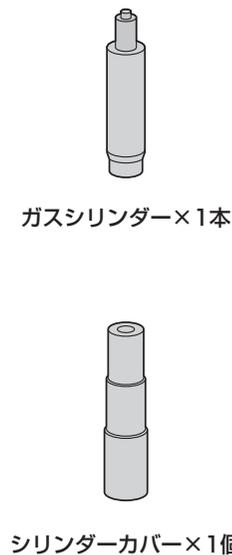
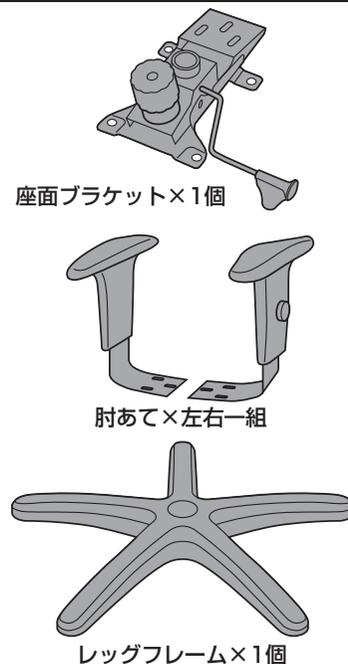
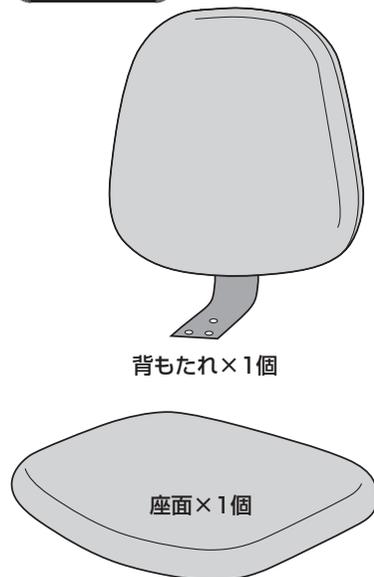
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
このOAチェアは組立式になっておりますので、下記の要領で組立てください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

★用意していただくもの・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください。）

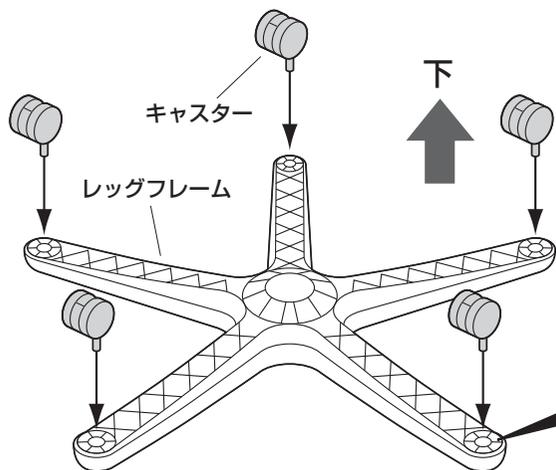
完成図



完成図

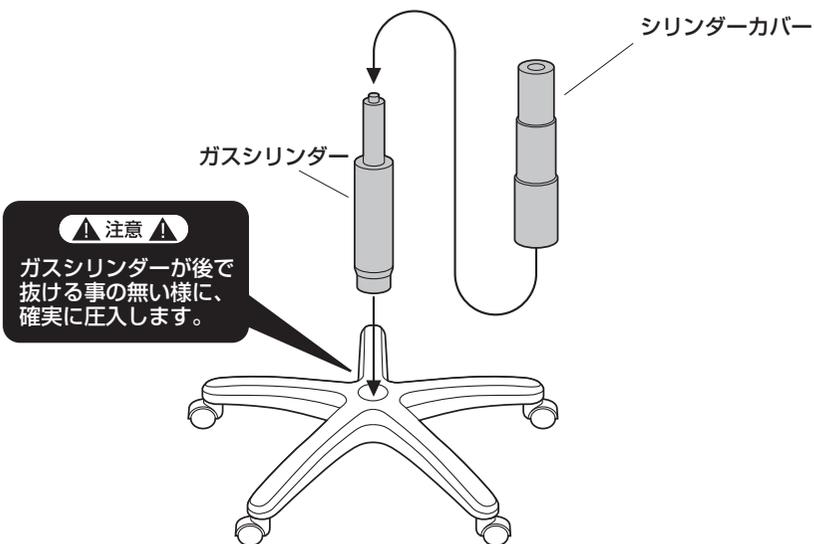


1 レッグフレームをひっくり返して、キャスターを取付けます。



▲注意▲
それぞれのキャスターは全て
圧入です。(手ではめ込む)
カチッと音がするまで、確実
に圧入します。

2 ガスシリンダーにシリンダーカバーをかぶせ、レッグフレームに差し込みます。

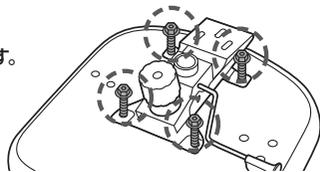


▲注意▲
ガスシリンダーが後で
抜ける事の無い様に、
確実に圧入します。

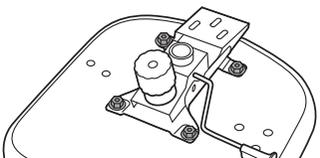
3

座面の裏側に座面ブラケットを取付けます。

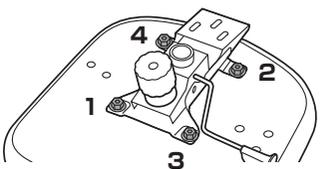
①4本のボルトをゆるく付けます。



②すべてのボルトを均等に
少しずつ締め込みます。



③最後に下図の1,2,3,4の順に
きつく締めつけます。



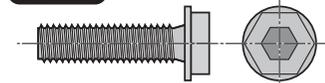
六角穴付き
ボルトA

座面ブラケット
※ノボルトが付い
ている方が前です。

座面裏側

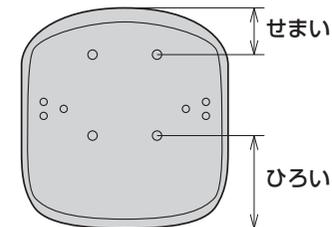
前

使用ボルト



六角穴付きボルトA (M6×24)

下から見た図

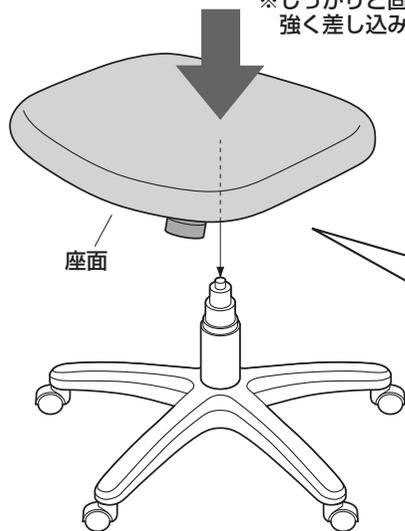


前

4

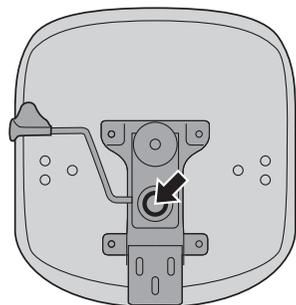
ガスシリンダーに座面を差し込みます。

※しっかりと固定するまで、
強く差し込みます。



下から見た図

※下図の穴に差し込みます。



前

▲注意▲

座面をガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込
んでください。
座面が斜めに差し込まれていると、奥まで差し込
まれません、ガスシリンダーが正常に作動しない場合
があります。



斜めに差し込
まれている

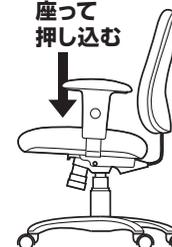


まっすぐ奥まで
差し込まれている

最後に

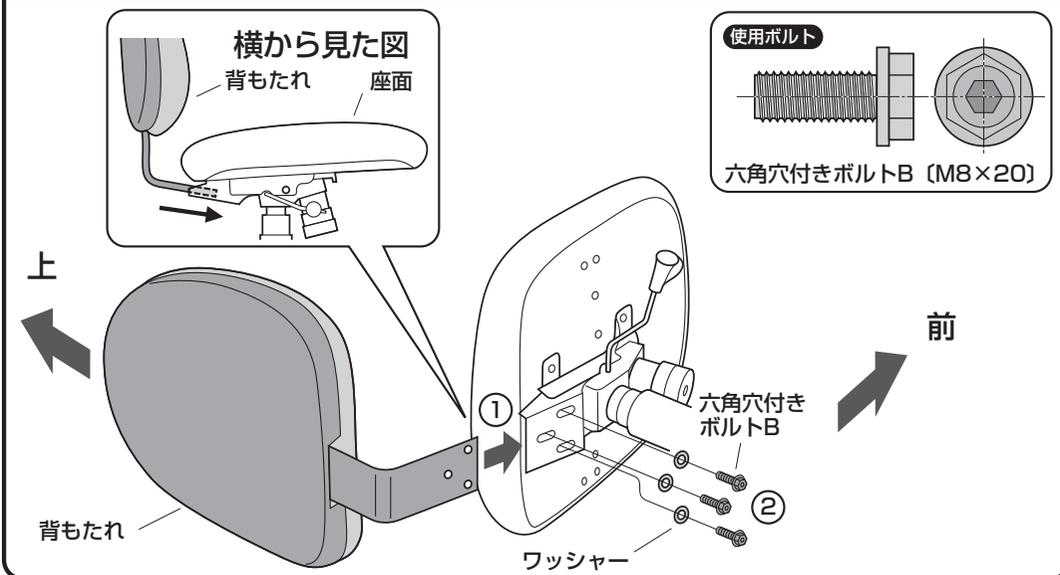
※ガスシリンダーが深く差し込まれる
ように、座面にしっかり体重をかけて
ください。

座って
押し込む

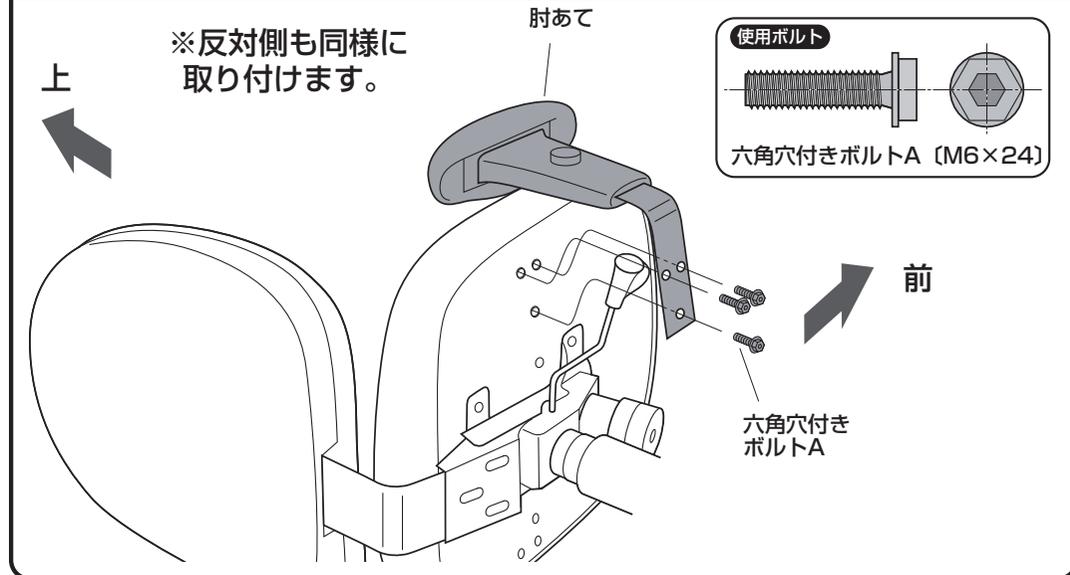


※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座
面の高さ調節ができません。
※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを确实
に差し込んでください。
※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込ま
れない場合があります。
※固定が不十分ですと、チェアを持ち上げた時にレ
ッグフレームが抜け落ちる場合があります。

5 横に倒し、背もたれを取付けます。



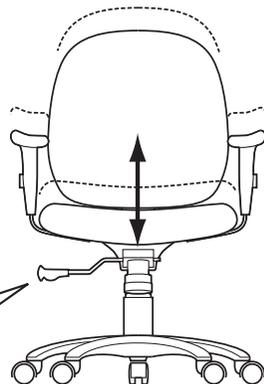
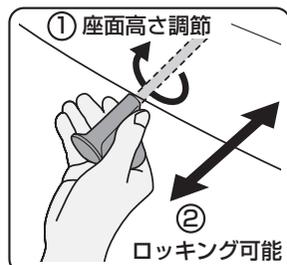
6 肘あてを取付けて完成です。



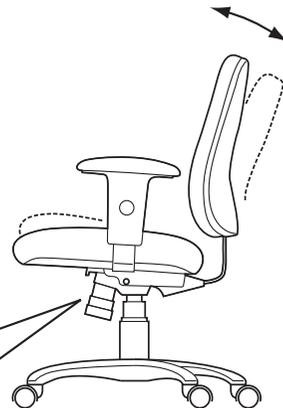
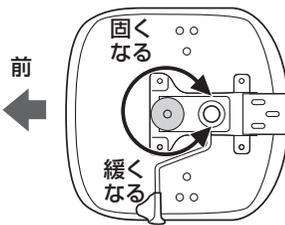
座面の高さの調節方法

▲ 注意 ▲ レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面を差し込み直してください。

- ① レバーを矢印の方向へ回転させると座面の高さ調節ができます。
- ② レバーを外側に引き出すと、ロック機構が働き、差し込むと固定されます。



下から見た図
下から見て、ツマミを時計回りに回すとロックが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。



チェアの品質表示

外形寸法：幅660×奥行630×高さ910～1000mm (座面高さ450～540mm)
構造部材：座部/合板 背もたれ部/合板、ポリプロピレン脚部/ナイロン
キャスター部/ナイロン 肘あて部/ポリプロピレン
張り材：布 クッション材：ウレタンフォーム

▲ 使用上の注意 ▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面や肘あての上に登らないで下さい。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。